

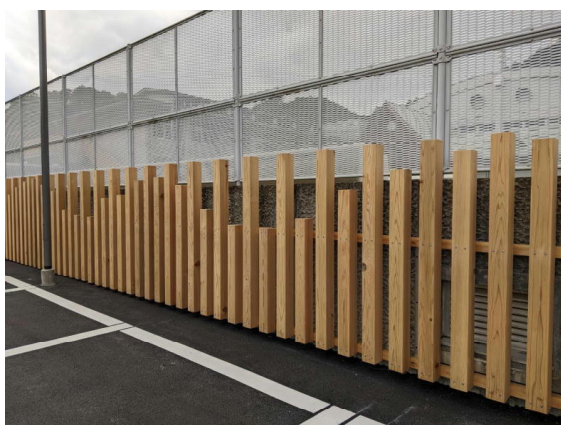
スギ黒心材の利用について

奈良県森林技術センターでは、2019～2020年に、奈良県吉野地域で育った樹齢100年以上のスギ（黒心材9個体、赤心材3個体、縞（心材に縞状の濃淡がある材）4個体および辺材）を使って、材質調査を行いました。試験材は、吉野製材工業協同組合からご提供いただきました。

その結果、今回供試したスギ黒心材は、抗菌力を持つテルペン類を多く含み、「腐りにくい」「シロアリに強い」「カビが生えにくい」ことがわかりました。また、材色による曲げ強度の差はありませんでした。

これらの結果を受け、2021年に吉野町立吉野さくら学園の駐車場脇に、黒心材を使った木塀が作られました。当センターでは、この木塀の経年変化も調査しています。また、2022年に上吉野木材協同組合で、黒心材を外壁等に使って休憩所も作られました。

さらに、2023年1月31日～2月1日に東京ビッグサイト 西1・2ホール（東京都江東区有明3-11-1）にて開催されるWOODコレクション（モクコレ）2023 奈良県ブースにて、スギ黒心材に「吉野百年黒杉」という愛称を付けて、展示・PRが行われることになりました。



吉野さくら学園 木塀



上吉野木材協同組合 休憩所